

# 図書館でできることQ&A!

Q.図書館を使うには?

A. 「利用カード」があれば、市内の全ての図書館で貸出ができます。  
カード発行には生徒手帳・学生証等、住所が書かれている公的な証明書を持ってきてください。

Q.何冊まで借りられるの?

A. 本・雑誌は20冊 CD・DVDはあわせて5点 語学CDは3点まで  
2週間借りられます。

Q.貸出以外にできることは?

A. 貸出中の資料の予約や、図書館資料を使って調べることができます。  
図書館の職員に気軽に相談して下さい。

パスワードで使えるサービス

超便利!

## ★電子図書サービス

自分のスマートフォンやパソコンで、図書館の電子図書を読みます！

## ★本の予約や、貸出の延長

インターネットで、図書館の本を予約したり、貸出中の本を延長したりできます。

## ★読書ノート

図書館内にある「読書ノートシール印刷機」で、今借りている本の書名・著者名等が記載されたシールを印刷できます。

図書館で配っている「読書ノート」に貼って、自分だけの読書記録をつけてみませんか？



「初期パスワード」は、利用カードがあれば自宅のPCやスマートフォンからも発行できます。

## 7・8月の図書館カレンダー

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

X  
中央図書館の休館日  
(第3金曜日)

X  
地域図書館・分室  
文庫の休館日

~図書館の本などは、返却期限を守って大切に使いましょう~

借りている本やDVDなどの返却が15日以上遅くなると、それを返すまでは以下のことができませんので、借りる時や返却前によく確認してください。

①貸出

②予約

③借りている本などの延長



Q



中学生・高校生のみなさんへ



# 川口市立図書館から ティーンズの本棚

2024



⇨ 二次元コードを読みとってね！



## ☆図書館からみなさんへ、おすすめの本を紹介します！

こちらで紹介している本は、市内の各図書館で夏休み中に展示・貸出をおこないます。貸出されても大丈夫！「予約申し込み」をすれば、市内の各図書館どこにでも届きます。ぜひ、お気に入りの1冊を見つけてくださいね。

中央図書館	前川図書館	新郷図書館	横曽根図書館	戸塚図書館	鳩ヶ谷図書館	芝園分室
048 (227)7611	048 (268)1616	048 (283)1265	048 (256)1005	048 (297)3098	048 (285)3110	048 (269)2241

★休館日や開館時間は、それぞれの図書館にお問合せください。

図書館のホームページにものっています。  
<https://www.kawaguchi-lib.jp/>

※芝北文庫、南鳩ヶ谷文庫、移動図書館のお問合せは、中央図書館へ



**『つる子さんからの  
奨学金』**

まはら三桃/作 偕成社

わかばは曾祖母つる子から、ワンランク上の高校を目指すことを条件に奨学金を出すと言われる。上昇志向のなかつたわかばだが、勉強を頑張る中で挑戦する喜びを知っていく。



**『ABC!』**

『団第二中学校放送部』  
市川朔久子/著 講談社

みさごは所属するのは部員2名で存在感のない放送部。しかし、美人転校生やちょっと間の抜けた熱血教師の顧問、元野球部の男子など、様々な事情を抱えた人物が放送部に関わって、学校の生徒に声を届けていく。



**『ハリネズミは月を見上げる』**

あさのあつこ/著 新潮社

引っ越し思案の鈴美は、ひょんなことから同じ高校の菊池(きくいけ)比呂と出会う。自分とは正反対の性格で、凜とした雰囲気をまとう菊池さんには、鈴美は圧倒されつつ、次第に魅了されていく。



**『サード・プレイス』**

ささきあり/作 酒井以/絵 フレーベル館

家でも学校でもない第三の場所、サプリガーデン。中高生向けのこの施設に通うようになった4人の中学生たちが、それぞれ自分を見つめ直し、これまでとは違う新しい自分を発見していく。



**『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トジュ』**

こまつあやこ/著 講談社

マレーシアから転校してきた沙弥(さや)。目立たないよう気を使っていたが、ある日先輩から呼び出され、学年の“問題児”と一緒に「鬼の祭り」に出ることに。はじめはぎくしゃくしていた5人だが「うらじや」を通して、互いに支えあいながら、葛藤に向き合っていく。



**『おにのまつり』**

天川栄人/著  
講談社

中3の夏、あさひは岡山県に伝わるよさこいの一種「うらじや」を踊るコーチを任され、学年の“問題児”と一緒に「鬼の祭り」に出ることに。はじめはぎくしゃくしていた5人だが「うらじや」を通して、互いに支えあいながら、葛藤に向き合っていく。



**『空をつかむまで』**

関口尚/著  
集英社

市町村合併により優太たちが住む美里村はなくなることになった。新市の誕生を記念して開かれるジュニアトライアスロン大会に向かって、優太たちの猛特訓が始まる！



**『風神秘抄』**

荻原規子/作  
徳間書店

幼いころから孤独だった笛の名手・草十郎と女性の舞姫・糸世(いとせ)。

2人の笛と舞は共鳴合い、不思議な力が生じていく。平安末期を舞台にした歴史ファンタジー。



**『愛なき世界』**

三浦しをん/著  
中央公論新社

洋食店で住み込みの見習いをする陽太が、出前先の大学の研究室で見たのは、植物を研究する紗英たちの姿と無数の植物。

肉眼だけでなく顕微鏡を通して広がる植物の世界に、陽太は次第に興味を抱いていく。



**『アップステージ』**

ダイアナ・ハーモン・アシャー/作  
武富博子/訳 評論社

シーラはシャイな中学生。ある日学内のミュージカルの脇役に合格する。練習では、主役の一軍女子の先輩の存在にやきもき、その傍ら恋の予感も。初めて真剣に人と向き合うシーラを、あなたも応援したくなるはず。



**『パンツプロジェクト』**

キャット・クラーク/著  
三辺律子/訳 あすなろ書房

中学1年生のリヴの悩みは、「女子はスカートをはくこと」という校則のこと。リヴの外見は女の子だけど、自分は男の子だと思っているからだ。そこで、校則を変えるためリヴと仲間にちは立ち上がる！



**『兄の名は、ジェシカ』  
『戦火の馬』**

ジョン・ボイン/著  
原田勝/訳 あすなろ書房

サムは、サッカーが上手で、弟思いの兄・ジェイソンのことが大好きだった。そんな兄から、ある日自分は本当は男の子だと思っていたからだ。そこで、校則を変えるためリヴと仲間にちは立ち上がる！



**『はてしない物語』**

ミヒヤエル・エンデ/作  
上田真而子/訳  
佐藤真理子/訳 岩波書店

第一次世界大戦のイギリスとドイツの戦争に、軍馬として用いられたジョーイ。死と隣り合わせの壮絶日々、その中で生まれた人間や馬同心を通わせるドラマが馬の視点で語られる。



**『コミック密売人』**

ピエルドメニコ・バッカラリオ/作  
杉本あり/訳 岩波書店

1989年、冷戦下のハンガリー。15歳のシャーンدلは、禁じられたアメコミを仕入れて売りさばく「コミック密売人」だった。スマーダーマンやXメンに夢中になっていたが、ある日コミックの仲介者が行方不明になってしまった。時代の変革期を生きる少年たちの成長を描く。



**『まぼろしの小さい犬』**

フィリパ・ピアス/作  
猪熊葉子/訳 岩波書店

ベンは誕生日におじいちゃんから犬をもらうはずだったのに、もらったのは犬のししゅうの絵だった。がつかりしたベンは、頭の中で犬を飼うことになる。他の人は見えない想像の犬は、ベンの中でどんどん大きくなっている。



**『ことばハンター』**

飯間浩明/著 ポプラ社

国語辞典で「普通」はどう説明する？国語辞典の“中の人が、そんなハテナを浮かべながら日々ワードハンティングする様子がうかがえる。知っていると思っていたあの言葉も、何となく通り過ぎていたその言葉も、そして国語辞典も、きっともっと身近にならねば。



**『子どもを守る言葉  
「同意」って何？』**

レイチェル・ブライアン/作  
中井はるの/訳 集英社

自分の心や体は自分の中の。だからこそ、自分を守り、相手を尊重するために必要な「同意」。



**『じぶんリセット**

つまらない大人にならないために』

小山薫堂/著  
河出書房新社

日常の「あたり前」をリセットし、新しい価値観を見つけて、面白い毎日になませんか？勉強に行き詰まつたり、何か悩み事ができた時、パソコンの電源を切って再起動するような気持ちで、この本を読んでみてください。



**『プチ哲学』**

佐藤雅彦/文と絵  
中央公論新社

哲学って難しそう…そんな思いを覆す本です。ちょっとだけ深く考えてみると、見方や考え方の幅が広がります。



**『みづばち高校生』**

森山あみ/著 リンデン舎

長野県富士見高校には、全国でもめずらしい養蜂部がある。みづばちに魅せられた一人の女子高生が部を立ち上げ、その後成長していく様子を記録した作品。蜂を育てるだけでなく、幅広い活動をして驚かされます。



**『本のれきし5000年』**

辻村益朗/作 福音館書店

本って一体なんだろう？紙が無かった時代、人は絵や文字を粘土板や木、皮に残した。そして紙や印刷の発明により、本は現在の形になったのだ。この本を読み終わったら、本そのものをよくみてみよう。5000年の歴史が、君の手の中にあります。



**『自分の木の下で』  
『カメの甲羅はあばら骨』**

大江健三郎/著

大江ゆかり/画  
朝日新聞社

著者は10歳で太平洋戦争の敗戦を経験した、ノーベル文学賞作家。自分の子供時代や子育ての経験を元に、「なぜ子供は学校にいかなければならぬのか」というような素朴な疑問に答えるなど、今子供時代を生きる人に、役に立つことを語った1冊。



**『カメの甲羅はあばら骨』**

川崎悟司/著  
SBクリエイティブ

もしも人間がその構造を持っていたら…。人間の手とモグラの手、人間の足とフランギの足など、人間の体を通して動物の体のしくみ、進化の事実を学べる1冊。

